

松山市産アミメカゲロウ上目目録

松野茂富

¹〒790-8566 松山市樽味 3-5-7 愛媛大学農学部昆虫学研究室 (E-mail: protohermes@hotmail.co.jp)

Shigetomi Matsuno (2012) List of species of Neuropterida in Matsuyama City, Ehime Prefecture, Shikoku, Japan. pp. 101-104. In: Committee for Surveys of Natural Environment of Matsuyama City (Chief Editor: Kazuo ISHIKAWA) (ed.) Checklist of the Wild Animals, Fungi, and Plants of Matsuyama City, 2012. Published by the Department of Environment, Matsuyama City, 404 pp.
(Entomological Laboratory, Faculty of Agriculture, Ehime University, Tarumi 3-5-7, Matsuyama, 790-8566 Japan)

Abstract — This is a list of Neuropterida (order Megaloptera, Raphidioptera and Neuroptera) species in Matsuyama City, Ehime Prefecture, Japan. As a result the following families and species are listed: Megaloptera (2 fam., 4 spp.), Raphidioptera (1 fam., 1 sp.), Neuroptera (8 fam., 39 spp.).

本リストは、2002 年発行の「松山市野生動植物総合目録」に掲載されたアミメカゲロウ目の種リスト(大林ほか 2002)の改定第 2 版である。脈翅類は2種が記録されているのみであったが、今回は 43 種を収録した。今回は一般的な体系を採用したため脈翅上目 Neuropterida は3つの目(ラクダムシ目 Raphididae, ヘビトンボ目 Megaloptera, アミメカゲロウ目 Neuroptera)を含む。

凡 例

1. 種の配列および学名はおもに平嶋義宏監修, 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集 (1989) によるが, 科名, 学名などその後変更がなされているものは最新のものを採用した。
2. 【既知】は既知記録。【標本】は今回調査で確認された記録。
3. 「松山市野生動植物目録 2002」に掲載された記録については, 全て松山市からの記録として扱った。詳細な記録地については先の目録を参照のこと。
4. 既存記録のうち, 「~属の一種」のように同定が不十分なものについては基本的にリストから除外した。また, 国土交通省「河川水辺の国勢調査」のリストには明らかな誤同定種が数種含まれていたため, それらは削除した。

Neuropterida アミメカゲロウ上目

Megaloptera ヘビトンボ目

Corydalidae ヘビトンボ科

1. *Protohermes grandis* (Thunberg, 1781) ヘビトンボ。【既知】重信川出会橋(国土交通省 1998); 松山市 (松山市野生動植物目録 2002); 石手川ダム, 米野町, 食場町, 杉立, 藤の町, 湯山(Matsuno et al. 2009)。
2. *Parachauliodes continentalis* Weele, 1909 タイリククロスジヘビトンボ。【既知】松山市(松山市野生動植物目録 2002)。
3. *Parachauliodes japonicus* (MacLachlan, 1867) ヤマトクロスジヘビトンボ。【既知】高縄山(Matsuno et al. 2009)。

Sialidae センブリ科

4. *Sialis japonica* van der Weele, 1909 ネグロセンブリ。【既知】久米地区, 杉立, 森松(Matsuno, et al. 2009)。

Raphidioptera ラクダムシ目

Inoceliidae ラクダムシ科

5. *Inocellia japonica* Okamoto, 1917 ラクダムシ。【新規】樽味(2009.5.10 松野)

Neuroptera アミメカゲロウ目

Coniopterygidae コナカゲロウ科

6. *Coniopteryx abdominalis* Okamoto, 1905 キバラ

コナカゲロウ。【既知】鹿島, 高縄山, 重信川森松(Kuwayama 1956)。

7. *Semidalis albata* Enderlein, 1907 シロコナカゲロウ。【既知】杉立, 道後町(Kuwayama 1956)。
8. *Coniocompsa japonica* Enderlein, 1907 マダラコナカゲロウ。【既知】道後町(Kuwayama 1956)。

Osmylidae ヒロバカゲロウ科

9. *Osmylus hyalinatus* McLachlan, 1875 スカシヒロバカゲロウ。【既知】松山市(Nakahara 1914); 高縄山(Kuwayama 1956)。
10. *Osmylus pryeri* McLachlan, 1875 プライヤーヒロバカゲロウ。【新規】米野町(2010.5.16 松野)
11. *Spilosmylus flavicornis* McLachlan, 1875 キマダラヒロバカゲロウ。【既知】松山市(Nakahara 1914)。
12. *Spilosmylus tuberculatus* (Walker, 1853) ヤマトヒロバカゲロウ。【既知】中土手(Kuwayama 1956)。

Hemerobiidae ヒメカゲロウ科

13. *Hemerobius harmandinus* Navas, 1909 キバネヒメカゲロウ。【既知】樽味, 道後町(Kuwayama 1956)。
14. *Hemerobius humulinus* Linnaeus, 1758 ミヤマヒメカゲロウ。【既知】道後町(Kuwayama 1956)。
15. *Hemerobius japonicus* Nakahara, 1915 ヤマトヒメカゲロウ。【既知】松山市, 高縄山(Kuwayama 1956)。
16. *Micromus linearis* (Hagen) ホソバヒメカゲロウ。【既知】石手, 祝谷, 松山市, 杉立, 樽味, 東野(Kuwayama 1956)。
17. *Micromus numerosus* (Navas, 1910) チャバネヒメカゲロウ。【既知】松山市, 杉立, 道後町(Kuwayama 1956); 重信川河口(国土交通省 2003)。
18. *Paramicromus dissimilis* (Nakahara, 1915) ニセヒメカゲロウ。【既知】祝谷, 道後町(Kuwayama 1956)。
19. *Notiobiella subolivacea* Nakahara, 1915 ミドリヒメカゲロウ。【既知】祝谷, 松山市, 杉立, 東野(Kuwayama 1956)。
20. *Symphorobius tessellatus* Nakahara, 1915 マダラクロヒメカゲロウ。【既知】祝谷(Kuwayama 1956)。

Chrysopidae クサカゲロウ科

21. *Chrysopa formosa* Brauer, 1851 クモンクサカゲロウ。【既知】松山市, 道後町(Kuwayama 1956)。
22. *Chrysopa pallens* Wesmael, 1841 ヨツボシクサ

カゲロウ。【既知】松山市, 樽味(Kuwayama 1956); 重信川河口, 重信川出合橋, 重信川森松, 石手川市坪橋(国土交通省 1993); 重信川河口, 重信川出合橋, 重信川森松(国土交通省 2003)。

23. *Chrysoperla carnea* (Stephens, 1836) ヤマトクサカゲロウ。【既知】杉立, 樽味, 東野(Kuwayama 1956)。
24. *Chrysoperla furcifera* (Okamoto, 1914) アカスジクサカゲロウ。【既知】湊山(Kuwayama 1956); 石手川市坪橋(国土交通省 2003)。
25. *Chrysoperla suzukii* (Okamoto, 1919) スズキクサカゲロウ。【既知】杉立, 東野(Kuwayama 1956)。
26. *Mallada basalis* (Walker, 1853) ヒメリュウキュウクサカゲロウ。【既知】松山市, 東野(Kuwayama 1956)。
27. *Pseudomallada cognatellus* (Okamoto, 1914) イツホシアカマダラクサカゲロウ。【既知】道後町(Kuwayama 1956)。
28. *Pseudomallada formosanus* (Matsumura, 1910) フタモンクサカゲロウ。【既知】三坂峠(Kuwayama 1956)。
29. *Semachrysa matsumurae* (Okamoto, 1914) マツムラクサカゲロウ。【既知】道後町(Kuwayama 1956)。
30. *Italo-chrysa japonica* (McLachlan, 1875) セアカクサカゲロウ。【既知】東野(Kuwayama 1956)。
31. *Nacaura matsumurae* (Okamoto, 1912) アミメクサカゲロウ。【新規】鷹子町(2010.7.27 松野)。

Sisyridae ミズカゲロウ科

32. *Sisyra nikkoana* (Navas, 1910) ミズカゲロウ。【既知】杉立(Kuwayama 1956)。

Mantispidae カマキリモドキ科

33. *Eumantissa harmandi* (Navas, 1909) キカマキリモドキ。【既知】杉立(Kuwayama 1956)。
34. *Mantissa japonica* McLachlan, 1875 ヒメカマキリモドキ。【新規】樽味(2011.7.21)。

Myrmeleontidae ウスバカゲロウ科

35. *Gatzara jezoensis* (Okamoto, 1910) コマダラウスバカゲロウ。【既知】杉立(Kuwayama 1956); 杉立(田辺 2000)。
36. *Dendroleon pupillaris* (Gerstaecker, 1893) マダラウスバカゲロウ。【既知】高縄山(Kuwayama 1956)。
37. *Distoleon nigricans* (Okamoto, 1910) カスリウスバカゲロウ。【既知】米野町(Kuwayama 1956)。
38. *Paraglenurus japonicus* (McLachlan, 1867) ホ

- シウスバカゲロウ. 【既知】祝谷, 米野町, 松山市, 高縄山(Kuwayama 1956).
39. *Pseudoformicaleo jacobsoni* van der Weele, 1909 ヒメウスバカゲロウ. 【既知】吉田山(Kuwayama 1956).
40. *Baliga micans* (McLachlan, 1875) ウスバカゲロウ. 【既知】高縄山, 三坂峠(Kuwayama 1956).
41. *Heoclisia japonica* (McLachlan, 1875) オオウスバカゲロウ. 【既知】米野町, 松山市(Kuwayama 1956).
42. *Myrmeleon formicarius* (Linnaeus, 1767) コウスバカゲロウ. 【既知】道後町(Kuwayama 1956).

Ascalaphidae ツノトンボ科

43. *Hybris subjacens* (Walker, 1853) ツノトンボ. 【既知】松山市(Kuwayama 1956).

文 献

- 平嶋義宏監修, 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集 (1989) 日本産昆虫総目録. 九州大学農学部昆虫学教室, 福岡, 1,767pp.
- Kuwayama, S. (1953) Insect fauna of Mt. Ishizuchi and Omogo valley, Iyo, Japan: the Neuroptera. Transactions of the Shikoku Entomological Society, 3 (7): 177-180.
- Kuwayama, S. (1956) An annotated list of the Neuroptera-Planipennia from Shikoku, Japan. Transactions of the Shikoku Entomological Society, 5 (1-2): 19-32.
- Matsuno, S., Ohbayashi, N., Liu, X.Y. & Hayashi, F. (2009) A list of Megaloptera (Neuropterida) specimens in the collection of the Ehime University Museum. Japanese journal of systematic entomology, 15 (2): 457-468.
- Nakahara, W., (1914) On the Osmylinae of Japan. Annotationes Zoologicae Japonenses, 8: 489-518.
- 田辺秀雄 (2000) コマダラウスバカゲロウ幼虫の齢数について. 四国虫報, (35): 11-12.

